

様式第2号（第5条関係）

令和4年5月17日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

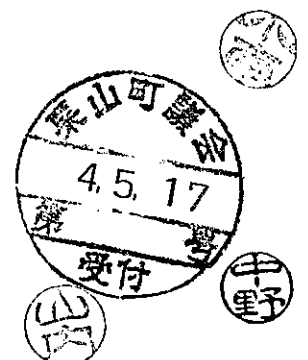
栗山町議会議員 佐藤



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和4年5月12日～令和4年5月13日
- 2 旅行先 東京都新宿区
- 3 目的 全国地方議会サミット2022
- 4 関係書類 別紙のとおり



全国地方議会 サミット 2022

2022 05.12(木) ▶ 05.13(金) 早稲田大学大隈講堂 会場先着
オンライン配信併用 300名様

多様な 議員、参画、 政策形成

デジタルで
広がる・つながる・深まる
議会改革

いま地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題の解決へ向けて、多様な意見の集約と政策への反映が求められています。デジタル活用においては、委員会のオンライン開催に関する全国市議会議長会による参考条例が示されるなど、その機運が高まっています。また、政治分野における男女共同参画の推進も求められるなど、議会の多様性の確保への体制の整備も迫られています。専門家や当事者の議論に加え、各地の議会から事例紹介も交えて大いに提起、発信します。是非ご参加ください。

Day1 <5/12(木)> 13:00-18:00
登壇者紹介



チーム議会で取り組む
「自己決定・自己責任」の地方自治
元三重県知事
北川 正恭



一人一人の多様な幸せを実現する
デジタル庁のミッション
動画出演
デジタル大臣
萩原 経子



住民自治と多様な議員で
構成された活力ある議会
大正大学社会共生学部教授
近藤 俊昭



各地からオンライン登壇も！
オンライン議会の展開事例
月刊「カバサンス」編集主幹
千葉 茂明



多様な議員の一般質問を
議会の政策形成へ
法政大学法学部教授
土山 希美枝

Day2 <5/13(金)> 10:00-16:00
登壇者紹介



コロナ2年の経験を
どう活かしていくか！
法政大学総長
廣瀬 克哉



地方議会における
男女共同参画の推進と実践
日本大学法学部教授
林 紀行



速報！議会改革度調査
ランキングとトレンド
早稲田大学マニフェスト研究センター所長
中村 健



Z世代にも届く！
デジタルを活用した広報・広聴
株式会社POTETO Media代表
古井 康介



いまこそ問われる！
地方自治と議会の役割
元総務大臣
片山 善博



ZEIT代表
小林 真子



ZEIT副代表
吉永 一輝

※登壇者やプログラム、
開催方法等は変更になる可能性があります。

詳細プログラム
開催概要は裏面へ

主催・共催

ローカル・マニフェスト推進連盟

Manifesto Awards

早稲田大学
マニフェスト研究所

後援

全国市議会議長会
National Association of Chairpersons of City Councils

全国町村議会議長会
National Association Chairpersons of Town and Village Assemblies

全国地方議会サミット2022 プログラム

「地方自治の未来を共に考える」

<http://maniken.jp/summit/>

第 **1** 日目

2022.05.12 THU 13:00~18:00

- \ 13:00-13:10 オープニング
- \ 13:10-13:30 チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
北川 正恭 早稲田大学名誉教授／元三重県知事
- \ 13:30-13:45 一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション
※動画出演 牧島 かれん デジタル大臣
- \ 13:50-15:00 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
江藤 俊昭 大正大学社会共生学部教授
全国市議会議長会×全国町村議会議長会×江藤 俊昭
- \ 15:10-16:45 各地からオンライン登壇も!オンライン議会の展開事例 **各地からオンライン登壇予定**
千葉 茂明 月刊「ガバナンス」編集主幹／コーディネーター
清水 克士 滋賀県大津市議会 議会局長 「なぜオンラインが必要なのかー大津市議会の経験から」
岩崎 弘宜 茨城県取手市議会事務局次長 「こんなこともできる!オンラインー取手市議会デモテックへの取り組みから」
実践紹介 中野 智基 愛知県知立市議会 議長 「議会オンラインへの対応と市民とつながる・深まる議会改革」
実践紹介 松尾 徳晴 福岡県春日市議会 議長 米丸 貴浩 福岡県春日市議会議員／広報広聴委員長
「市民とつながるー『議員と語ろう 議会報告会』オンライン」 ※ほか依頼中
- \ 16:55-17:55 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ **各地からオンライン登壇予定**
土山 希美枝 法政大学法学部教授／コーディネーター
実践紹介 西原 浩 北海道別海町議会 議長 「一般質問検討会議から議会の政策形成へ」
実践紹介 青野 敏 北海道鷹栖町議会議員 片山 兵衛 北海道鷹栖町議会議員
「一般質問でまいたタネを市民と共有し議会の政策形成へつなげる」
- \ 17:55-18:00 クロージング

2022.05.13 FRI 10:00~16:00

第 **2** 日目

- \ 10:00-10:05 オープニング
- \ 10:05-10:50 コロナ2年の経験をどう活かしていくか!?
廣瀬 克哉 法政大学総長
- \ 11:00-12:00 地方議会における男女共同参画の推進と実践 **各地からオンライン登壇予定**
林 紀行 日本大学法学部教授／コーディネーター
実践紹介 永野 裕子 東京都豊島区議会議員 出産議員ネットワーク呼びかけ人 「出産・子育てと議員活動の両立両立支援のための体制整備」
実践紹介 高橋たい子 宮城県柴田町議会 議長 平間奈緒美 宮城県柴田町議会 副議長
「正副女性議長が取り組む柴田町議会の男女共同参画の推進」
- 昼休憩
- \ 13:00-13:45 速報!議会改革度調査ランキングとトレンド
中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
- \ 13:45-14:45 Z世代にも届く! デジタルを活用した広報・広聴
古井 康介 株式会社POTETO Media 代表
小林 真子 ZEXT 代表
吉永 一輝 ZEXT 副代表
- \ 14:55-15:40 いまこそ問われる! 地方自治と議会の役割
片山 善博 早稲田大学教授／元総務大臣
- \ 15:40-16:00 サミット宣言・クロージング

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

全国地方議会サミット2022 開催概要

※本大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催とさせていただきます。

<http://maniken.jp/summit/>

日時	2022年5月12日(木) 13時から18時まで 13日(金) 10時から16時まで	申込期限	2022年4月28日(木)
会場	早稲田大学大隈記念講堂／オンライン配信あり 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104	定員	会場先着300名様 オンラインは定め無し ※感染症対策のため会場の定員を制限して開催します。
対象	議員、議会事務局・自治体職員、市民等	主催者	主催：ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会 共催：早稲田大学マニフェスト研究所 後援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会
参加費	議員10,000円 一般(職員・市民等)5,000円 ※いずれも税込。 ※2日間を通しての金額です。	問合せ	事務局 早稲田大学マニフェスト研究所 担当：亀井、山内 電話番号：03-6709-6739 メール：mani@maniken.jp

お申込

ウェブよりお申し込み

こちらからお申し込みください

<http://maniken.jp/summit/>

議会事務局にて取りまとめたお申し込みの場合、
下記FAX申込書より請求書払いも承ります。



FAX 03-6709-6752
早稲田大学マニフェスト研究所宛

全国地方議会サミット2022参加申込書(FAX専用)

参加日 ※必須	☐ 両日(5月12日・13日) ☐ 第1日目(5月12日(木))のみ ☐ 第2日目(5月13日(金))のみ	参加方法 ※必須	☐ 会場(先着300名様) ☐ オンライン(定員無し) 注：開催方法は新型コロナウイルス感染症の影響によって変更となる場合があります。
------------	--	-------------	---

参加人数	議員(10,000円/人)：	名様	参加人数	一般(5,000円/人)：	名様
------	----------------	----	------	---------------	----

参加者氏名・所属

※必須

参加される方全員の氏名

と所属を記入してください。

【例：姓名(●●議会議員)】

電話番号

※必須

メールアドレス

※必須

【注意】こちらに記入のアドレス宛に当日のご案内等を送付します。参加者が複数名で、皆様個別にご案内が必要な場合は、氏名と合わせて全員分のメールアドレスを記入してください(別紙可)。

▼ 参加申込書を受領後、事務局より「請求書」を郵送します。請求書発行に必要な事項を記入してください。

請求書お宛名※必須

様

請求書但書・日付

【注意】原則として、但し書は「全国地方議会サミット2022(5月12日・13日)参加費として」/日付は請求書発行日を記載します。別に指定がある場合のみご相談ください。

請求書

〒

—

郵送先

住所：

御担当者名：

様宛

※必須

※上記御担当者様の電話番号：

メールアドレス：

<問合せ先> 事務局(早稲田大学マニフェスト研究所 担当：亀井・山内)

電話：03-6709-6739 FAX：03-6709-6752 メール：mani@maniken.jp

全国地方議会サミット2022 報告書

早稲田大学大隈記念講堂（東京都新宿区）

2022年5月12～13日

町議会議員 佐藤



多様な、議員、参画、政策形成

プログラム 「デジタルで広がる・つながる・深まる議会改革」

第1日（5月12日）〈抜粋〉

1. チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治

…北川 正恭（早稲田大学 名誉教授）

定数・報酬・政務活動費の問題で削減は議会改革ではなく、質を高めて行かねば改革と言えない。議会は監視機関（チェック）でなく、政策提案していく議会でなければ。

2. 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会…江藤 俊昭（大正大学社会共生学部 教授）

議会は二極化してきている。住民自治の根幹の再確認～多様性に基づく「公開と討議」の確認。多様性～何が大事なのか、少数派の意見も大切にし、住みやすいまちづくり、議員力、議会力強化が大切。

寺沢 さゆり（長野県長野市議会 議長）

ハラスメントの防止等の条例で議員を守る。市民と議会の意見交換会オンライン開催。今後委員会のオンライン検討中。

伊波 篤（沖縄県読谷村議会 議長）

議会の報告だけでなく住民からの要望を聞いて政策に生かしている。

定数と報酬を議論するのはいいが、議員の成り手不足、多様な人材が参画～環境整備重点要望や立候補を阻害するものを取り払う。議会報告会（オンライン）～ワークショップ方式。実施を日・土日曜日～高校生も参加できるように。町の課題は多くの町民の声を多様性（定数）で拾うことができる。

3. 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ…土山希美枝（法政大学法学教授）

西原 浩（北海道別海町議会 議長）…「一般質問検討委員会から議会の政策形成へ」

一般質問（一問一答式）内容の質が高まっている…委員会でアドバイスを受けて質問の中身を深める。再質問のヒントとなる。一般質問者が増えた。

青野 敏（北海道鷹栖町議会議員）、片山 兵衛（北海道鷹栖町議会議員）…

「一般質問でまいたタネを市民と共有し議会の政策形成へつなげる」

議会広報（議論する広報）と町広報の違いを出す。わが町の課題と争点を明確にする。議会広報を週刊紙の広告、電車の中吊りようにし、町民に分かりやすい、関心を持ってもらう努力をしている。

第2日（5月13日）

1. コロナ2年の経験をどう活かしていくのか!?…廣瀬 克哉（法政大学 総長）

このウイルスはもう大丈夫だとしても危機対応という課題がなくなったわけでない。2年もの期間があったのに危機管理策が前進していないとすれば、もうその組織は将来においても危機管理ができるはずない。

2. 地方議会における男女共同参画の推進と実践…林 紀行（日本大学法学部 教授）

女性議員を増やす必要があるのか？～①法の下での平等・男女平等→議員の多様性の確保。

②議員のなり手不足→議員数（候補者数）の確保。

地方議会は何をしなければならないのか？①イベントの開催～女性模擬議会、セミナー等

②広報・啓発。③ハラスメント対策。④男女に開かれた議会への環境整備～欠席規定の整備、妊娠・子育ての中の議員への配慮、旧姓使用、傍聴者への配慮。⑤議会における男女共同参画の推進に関する検討・理解の促進～女性議員中心の検討・提案等、男女共同参画・女性活躍に関する研修

永野 裕子（東京都豊島区議会議員） 出産議員ネットワーク・子育て議員連盟

…「出産・子育てと議員活動の両立、両立支援のための体制整備」

環境整備にあたって～①妊娠・出産・育児に関する法規や環境整備は、母体と子の命や人権に係る問題。代替手段もきかないため、最低限守られるべき共通ルールを設ける必要。②議員自身が議会制度を理解し、論拠を持ってルールメイキングすることに積極的になる。③議会の自律権は尊重されるべきであるが、議会内の政治的な構図やパワーバランス等影響することもあり、命や人権に関わる問題について部分社会の法理では不合理が生じる場合もあるため、第三者による調整を視野に置く必要。

3. Z世代にも届く！デジタルを活用した広報・広聴

古井 康介（株POTETO Media 代表）、小林 真子（ZEXT 代表）、吉永 一輝（ZEXT 副代表）

①Z世代に届けるために重要な「見せ方」について～「見せ方」一つで届き方は大きく変わる…文書より画像付き、動画付きの方が

②地方議会への関心の実態は…？～Z世代には届いていないという課題。関心があるが知らない課題

③興味はある人が「やってほしい」情報発信とは？～市民が求めている情報を、求める形で発信すること。

何を伝える (1)街の政治情報をわかりやすく発信する→住民向け。(2)お得情報を発信→住民向け。

④発信のポイント～意識するのは「何を伝える」「どう伝える」である。

感想

今回の研修において、議員定数と報酬問題ではなり手問題も含めて、現在いろんな多様性に対してどう臨むか？わが町の将来へのまちづくりを考えていかねばと思う。人口が減ったから定数を減らせば良いんだという問題ではない。特になり手問題は環境整備を考えて行かねば、また同様になり手は出てこないと思う。ここを抜きに議会改革を唱えても繰り返してである。また、議員の活動発信が不足感があり、その部分を変えねば理解されない。今回の研修で特に感じたことです。